

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 共同コンピュータホールディングス  
 コード番号 9685 URL <http://www.kyd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR担当  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日

(氏名) 吉村 昭一  
 (氏名) 小林 勇雄

TEL 0776-34-3512

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,484	14.8	48		54		28	
21年3月期第2四半期	1,743		66		68		17	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	5.55	
21年3月期第2四半期	3.42	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	3,672	1,976	53.5	386.14
21年3月期	3,467	2,003	57.3	388.74

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,962百万円 21年3月期 1,988百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期					0.00
22年3月期					
22年3月期(予想)					0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,200	7.9	40	73.5	30	80.0	20	58.3	3.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	5,115,492株	21年3月期	5,115,492株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	31,800株	21年3月期	400株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	5,105,949株	21年3月期第2四半期	5,234,063株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月15日付けで発表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。  
予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景気の底打ち感が見られるものの企業収益の減少は続いており、雇用情勢の悪化や先行きへの不透明感から企業の設備投資や消費も低迷するなど依然として厳しい状況が続いております。

当情報サービス業界におきましても、企業収益の悪化を背景に顧客の情報化投資に対して大幅な見直しや抑制傾向が強まって、経営環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況下で当社グループは、ソフトウェアの開発事業を中心に受注獲得に向け既存顧客の深耕や新規顧客の開拓に努めてまいりましたが、当第2四半期累計会計期間の業績は、企業収益の悪化などによる外部環境の影響が他の業種より多少遅れて影響してきており、役務提供型事業の契約の見直しに伴う受注減や請負型における大型案件の減少、新規案件の凍結、先送り等が起因して、売上高は14億84百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

一方、利益面につきましても、固定費の削減や経営の効率化に努めましたがSEの稼働率の悪化が売上原価を押し上げる結果となり、営業損益は48百万円の損失（前年同期は66百万円の利益）、経常損益は54百万円の損失（前年同期は68百万円の利益）となりました。

四半期純損益は、特別利益として過年度の賞与引当金の過大計上による戻入益23百万円や投資有価証券売却益6百万円などの計上がありましたが、28百万円の損失（前年同期は17百万円の利益）となりました。

なお、部門別の売上高は次のとおりであります。

部門（業務内容）の名称	当第2四半期連結累計期間	
	平成21年4月1日から	
	平成21年9月30日まで	
	金額（千円）	構成比（%）
ソフトウェア開発及び関連業務	830,699	55.9
コンピュータ関連サービス	511,645	34.5
データエントリー	125,884	8.5
その他	16,635	1.1
合 計	1,484,865	100.0

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の変動について）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は36億72百万円となり、前連結会計期間末に比べ2億9百万円の増加となりました。流動資産は13億65百万円となり、79百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が1億1百万円減少したことによるものであります。

固定資産は23億6百万円となり、2億83百万円増加いたしました。有形固定資産は16億20百万円となり、1億90百万円増加いたしました。主な要因は、建物及び構築物が3億75百万円増加し、建設仮勘定が2億18百万円減少したことによるものであります。

無形固定資産は1億70百万円となり、85百万円増加いたしました。主な要因は、ソフトウェアが83百万円増加したことによるものであります。

投資その他の資産は5億16百万円となり、8百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金資産が5百万円増加したことによるものであります。

(負債の変動について)

当第2四半期連結会計期間末の負債は16億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億30百万円の増加となりました。流動負債は7億63百万円となり、6百万円減少いたしました。固定負債は9億32百万円となり、2億37百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が2億37百万円増加したことによるものであります。

(純資産について)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は19億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円の減少となりました。主な要因は、当四半期純損失28百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計期間末の57.3%から53.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業キャッシュ・フローが6百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが2億45百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが2億67百万円の収入、資金に係る換算差額が5百万円増加となったことにより34百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は3億32百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は6百万円の資金の増加となりました。

主な要因は、売上債権の減少額が1億1百万円あったものの、たな卸資産の増加額60百万円、賞与引当金の減少27百万円や法人税等の支払額が13百万円あったことなどによるものであります。また、前第2四半期連結会計期間に比べ52百万円資金が減少しております。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は2億45百万円の資金の減少となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出が2億22百万円あったことなどによるものであります。また、前第2四半期連結会計期間に比べ2億42百万円資金が減少しております。

これは主に、有形固定資産の取得による支出の増減額が2億14百万円あったことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は2億67百万円の資金の増加であります。

主な要因は、短期借入による収入が3億40百万円、長期借入による収入が4億4百万円と短期借入金の返済による支出が3億20百万円、長期借入金の返済による支出が1億48百万円あったことによるものであります。また、前第2四半期連結会計期間に比べ2億25百万円資金が増加しております。これは主に、長期借入金の増減額が1億70百万円の増加と短期借入金の増減額が40百万円増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当年度については、第3四半期以降についても、企業の情報化投資は多少改善されるものの依然厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況のなか、当社グループは引続き既存顧客の深耕や新規顧客の開拓に努めてまいります。また、第2四半期連結累計期間に施策した固定費の削減効果も第3四半期以降見込まれますが、然しながら、景気の低迷による外部要因と当第2四半期連結累計期間の売上の減少とそれに伴うSEの稼働率の悪化による売上原価の押し上げなどの影響が通期の業績予想に影響を与えます。

これらの状況を踏まえ、平成22年3月期の業績予想を以下のとおり修正いたします。

連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

売上高	3 2 億円	（前年同期	3 4 億 7 4 百万円）
営業利益	4 0 百万円	（前年同期	1 億 5 1 百万円）
経常利益	3 0 百万円	（前年同期	1 億 5 0 百万円）
当期純利益	2 0 百万円	（前年同期	4 0 百万円）

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（会計処理基準に関する事項の変更）

①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による当第2四半期連結会計期間における損益への影響はありません。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	332,004	297,449
受取手形及び売掛金	393,852	495,359
商品	137,393	130,244
原材料	227	411
仕掛品	136,582	172,070
貯蔵品	308	302
繰延税金資産	244,728	257,882
その他	121,053	91,802
貸倒引当金	1,137	1,383
流動資産合計	1,365,014	1,444,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	527,301	152,171
土地	1,039,176	1,039,176
その他（純額）	54,105	20,221
建設仮勘定	-	218,609
有形固定資産合計	1,620,583	1,430,178
無形固定資産	170,035	84,733
投資その他の資産		
投資有価証券	185,700	183,588
長期貸付金	100,317	100,651
繰延税金資産	122,114	116,980
その他	132,521	131,402
貸倒引当金	24,510	24,524
投資その他の資産合計	516,143	508,098
固定資産合計	2,306,762	2,023,010
繰延資産	361	762
資産合計	3,672,138	3,467,911

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,620	38,358
短期借入金	353,136	315,334
未払費用	241,164	240,077
未払法人税等	5,975	14,335
賞与引当金	66,889	94,548
その他	68,615	67,207
流動負債合計	763,401	769,861
固定負債		
長期借入金	776,346	538,364
長期未払金	19,233	20,158
繰延税金負債	1,884	4,106
退職給付引当金	132,477	130,202
その他	2,079	2,125
固定負債合計	932,020	694,956
負債合計	1,695,421	1,464,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,612,507	1,612,507
資本剰余金	48,480	48,480
利益剰余金	363,873	392,235
自己株式	8,468	112
株主資本合計	2,016,392	2,053,111
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,646	5,190
為替換算調整勘定	64,042	69,883
評価・換算差額等合計	53,395	64,692
少数株主持分	13,719	14,674
純資産合計	1,976,716	2,003,093
負債純資産合計	3,672,138	3,467,911



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,743,335	1,484,865
売上原価	1,429,154	1,289,000
売上総利益	314,180	195,865
販売費及び一般管理費	247,710	244,517
営業利益	66,470	48,652
営業外収益		
受取利息	355	157
受取配当金	1,453	1,018
賃貸料収入	9,625	8,216
その他	4,151	2,740
営業外収益合計	15,585	12,132
営業外費用		
支払利息	8,490	9,700
減価償却費	2,175	4,992
その他	3,049	3,385
営業外費用合計	13,715	18,079
経常利益又は経常損失( )	68,340	54,599
特別利益		
投資有価証券売却益	2,606	6,272
賞与引当金戻入額	-	23,264
貸倒引当金戻入額	-	260
前期損益修正益	-	2,794
特別利益合計	2,606	32,591
特別損失		
投資有価証券評価損	19,576	-
貸倒損失	303	-
固定資産除却損	366	319
前期損益修正損	1,500	-
特別損失合計	21,745	319
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	49,201	22,327
法人税、住民税及び事業税	17,621	5,110
法人税等調整額	13,046	1,879
法人税等合計	30,667	6,990
少数株主利益又は少数株主損失( )	629	955
四半期純利益又は四半期純損失( )	17,904	28,362

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	909,862	791,936
売上原価	739,311	685,717
売上総利益	170,550	106,218
販売費及び一般管理費	118,485	119,034
営業利益又は営業損失( )	52,065	12,815
営業外収益		
受取利息	300	105
受取配当金	319	789
賃貸料収入	4,701	4,022
その他	1,634	2,321
営業外収益合計	6,955	7,239
営業外費用		
支払利息	4,384	5,366
減価償却費	1,087	3,315
その他	1,467	2,162
営業外費用合計	6,940	10,845
経常利益又は経常損失( )	52,081	16,421
特別利益		
投資有価証券売却益	-	6,208
賞与引当金戻入額	-	64
貸倒引当金戻入額	-	260
前期損益修正益	-	169
特別利益合計	-	6,702
特別損失		
投資有価証券評価損	8,945	-
貸倒損失	303	-
前期損益修正損	1,500	-
固定資産除却損	-	49
特別損失合計	10,748	49
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	41,332	9,769
法人税、住民税及び事業税	14,078	9,945
法人税等調整額	13,046	1,879
法人税等合計	27,124	11,825
少数株主利益又は少数株主損失( )	97	467
四半期純利益又は四半期純損失( )	14,304	21,127

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	49,201	22,327
減価償却費	21,323	40,070
のれん償却額	349	337
貸倒引当金の増減額( は減少)	50	260
株式交付費償却	1,283	401
受取利息及び受取配当金	1,809	1,176
支払利息	8,490	9,700
持分法による投資損益( は益)	621	-
貸倒損失	303	-
退職給付引当金の増減額( は減少)	27,842	2,274
賞与引当金の増減額( は減少)	2,138	27,659
固定資産除却損	366	319
投資有価証券評価損益( は益)	19,576	-
投資有価証券売却損益( は益)	2,606	6,272
売上債権の増減額( は増加)	32,055	101,506
たな卸資産の増減額( は増加)	38,759	60,952
仕入債務の増減額( は減少)	21,015	10,738
その他の資産の増減額( は増加)	23,055	3,317
その他の負債の増減額( は減少)	9,518	1,333
小計	84,630	29,875
利息及び配当金の受取額	1,809	1,176
利息の支払額	7,625	10,991
法人税等の支払額	19,525	13,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,288	6,590
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	600	600
定期預金の払戻による収入	6,000	-
有形固定資産の取得による支出	7,920	222,472
無形固定資産の取得による支出	-	19,692
投資有価証券の取得による支出	17,223	2,900
投資有価証券の売却による収入	18,595	16,434
貸付けの支払による支出	2,000	15,800
貸付金の回収による収入	248	318
その他資産の取得による支出	90	971
その他資産の回収による収入	606	416
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,383	245,267

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	210,000	340,000
短期借入金の返済による支出	230,000	320,000
長期借入れによる収入	210,000	404,700
長期借入金の返済による支出	124,727	148,917
自己株式の取得による支出	23,840	8,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,432	267,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,283	5,805
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	89,054	34,555
現金及び現金同等物の期首残高	412,150	297,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	501,204	332,004

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年8月24日付で、市場から以下の自己株式を取得しております。

自己株式	31,000株	8,246,000円
------	---------	------------